



### 第 252 回例会

日 時:平成 28 年 10 月 13 日 (木) 12 : 30～14:30

場 所:八王子エルシィ

出席者:56 名 出席率 84.88%

(会員総数 68 名 欠席 10 名 休会 2 名)

#### 会食とハッピーコイン披露

宮城例会委員長の進行で会食に入り、武田副会長からハッピーコイン 11 件の披露があった。

(6 ページに記載)



#### 1. 開 会 宮城例会委員長

10 月例会の開催を告げ、配布資料を確認する。

#### 2. 挨拶 岩島会長



皆さん、今日は。

台風続きで、快晴の日がほとんどなかった9月が過ぎ、やっと秋らしい季節になってまいりました。実りの秋、食欲の秋、スポーツの秋であります。夏バテを解消し、体調を整えることに心がけましょう。

さて、本日は今年度初めての新入会員をお迎えします。大変お若く、かつスポーツマンであります。どうぞよろしく願いいたします。

そして、本日の卓話は、竹元正美会員より大変に興味深い演題のお話が聞けそうであります。大いに楽しみにしたいと思います。

ところで、本日は少々時間を頂きまして、皆様にご諒承並びにご協力をお願いしたい事が1件ござい

ます。それはこの8月例会の卓話で話がありました八王子出身の肥沼信次博士に関することでもあります。実は、あの例会の後に「Dr. 肥沼の偉業を後世へ伝える会」より、是非とも協力団体に加盟してほしいとの要請がありまして、その第4回目の会合があるというので、その会の実態、内容を知るために出席してまいりました。現在、この会が進めている事業は次の3つであります。

1. Dr. 肥沼の生誕地、八王子市中町に顕彰碑を建立する。(完成時期は八王子市制 100 周年に合わせて平成 29 年 9 月を目標にしています。)

このために、本年 12 月 4 日 (日) には、八王子市いちろうホールで「お帰りなさい! Dr. 肥沼」と題して、チャリティイベントを行います。当プロバスクラブの元会員でありました伊藤涼子さんが中心になって進めておられます。

2. 八王子市内の小・中学校の子供たちに Dr. 肥沼の生涯を学ぶための副読本や紙芝居を提供する。これは八王子市が主体になって進めています。

3. Dr. 肥沼の遺志を学んでいるドイツ・ヴリーツェン市の青少年と八王子市の青少年との交流を活性化させる。

そして、会としては、この3つの事業を進めるにあたり、500 万円を目標に寄付金を募っております。一口 1,000 円で (何口でも) ということです。

協力団体は、今のところ、中町町会、八王子紫芳会、南ロータリークラブ有志、日本医科大学、八王子学園中学校・高等学校、八王子市立第三小学校 OB 有志、八王子医師会有志、NPO 法人八王子市民活動協議会、八王子国際協力会、八王子センター元気有志、八王子ボランティアネットワークであります。

この件に関しまして、私共理事会で協議しました結果、Dr. 肥沼の偉業は、八王子市民として、また日本人として誇りに思うものであり、私共のクラ

ブの目的にも適うものでありますが、今後どのような形で具体的に推進され、我々はどのような形で参画することになるのか不透明な現段階では、当プロバスクラブとしましては、南ロータリークラブと同じく「有志」として協力するのがよからうということになりました。

つきましては、この理事会の方針をご諒承頂きたいのですが、その前に何かご質問、ご意見がございましたら承ります。(質問および意見なし)

ご諒承頂けますか。(拍手多数で承認される)  
有り難うございます。

なお、会の方からは、寄付金のお願いの趣意書とゆうちょ銀行振込用紙とDr. 肥沼だよりの入った封筒が来ております。それを受付のテーブルに置いておきますので、どなたでもご自由に持ち帰りください。そして、寄付にご協力いただける方は、個人名でお願いすることになりますが、署名の脇に「東京八王子プロバスクラブ」という所属名を書き添えて頂きたく、よろしく願いいたします。

### 3. 新入会員紹介

紹介者の杉山会員より、白柳和義新会員が紹介されました。

この会場にいらっしゃって、とてもお知り合いの方が大変おおぜいいらっしゃるようですが、白柳さんは八王子市役所のご出身でありまして、行政一筋、私は彼の卒業を待ってお声掛けを致しました。お生まれが昭和24年5月ということですので平均年齢を少し下げて頂けるようです。

市民活動推進部長をお勤めになっておられ、市民活動に対しても非常に造詣が深いところですので、これからのプロバスクラブの活動に大いに貢献して頂けると思います。ご趣味が卓球ということで八王子卓球連盟の会長をなさっておられます。リオ・オリンピック大会以来の卓球ブームで非常にお忙しいようであります。

#### 白柳和義新会員のご挨拶

杉山さんのご紹介を頂きまして皆様のお仲間に加えさせていただきました。市役所では行政の関係を長く担当していました。市民活動推進部に在籍しておりました当時、市民の方々との交流の中でプロバ



スの方々との交流もさせていただきました。その節はありがとうございました。

趣味は卓球で小学校の低学年から中学、高校、市役所に入ってから部活動で続けてきました。どうぞよろしくお願い致します。

(ご挨拶の後、岩島会長から会員バッジとウエルカムカードが贈呈されました。)

### 4. パースデーカード贈呈

10月生まれの会員に、池田会員お手製のパースデーカードが会長から贈られました。



左から戸田、大野幸、小林時、立川、土井俊玄、古川、矢島の各会員(荒、岡本、山口会員は欠席)・敬称略

### 5. 卓話「米百俵を渡る」

#### 竹元正美会員

プロバスだより第250号に「米百俵を渡る」とのタイトルで寄稿しましたが、今回、同じタイトル



で卓話をするようになりました。

ここでは、プロバスだよりの内容と重複しない点を中心に卓話の概要についてお話したいと思います。

長岡藩の故事である「米百俵」の物語は、将来のために教育が重要であることを訴えるものです。1943年に山本有三が戯曲「米百俵」を書きました。2001年には、小泉総理が所信表明演説で「今の痛みを耐えて明日を良くしようという米百俵の精神こそ、改革を進めようとする今日の我々に必要ではないでしょうか」と述べました。

この「米百俵」の物語を、中米の貧困国であるホンジュラスで演劇上演し、大きな評価を受けました。そこで、先ず、ホンジュラスという国について少し紹介します。



(カリブ海のグアナハ島)

ホンジュラスは、1502年コロンブスの第4回目の航海で発見されました。コロンブスは、ホンジュラスのカリブ海に浮かぶグアナハ島にたどり着きました。そこで、住民が王様に献上するココアの飲み物をコロンブスに差し上げました。このココアの飲み物をヨーロッパに持ち帰ってチョコレートが出来ました。チョコレートの発祥の地はグアナハ島ということです。ホンジュラスではピアノが少ないのですが、どこの地方に行ってもマリмбаはあり、その地元の男性たちが演奏していました。というのは、マリмбаという楽器は、ホンジュラスと隣のグアテマラのあたりが発祥の地であるため、大変盛んであるということでした。



(紀宮殿下ご到着時空港にて)

私の在任中に、日本の皇族として初めて紀宮殿下が訪問されました。ホンジュラスは、国賓待遇で歓迎してくれました。新聞の報道は、最初から数ページにわたってすべて紀宮殿下の記事と写真で埋まっていました。国立音楽学校での歓迎コンサートでは、同校の教授が作詞・作曲した「清子様に捧げる曲」をオーケストラが演奏し、声楽家がスペイン語と日

本語で歌いました。

この曲は大変美しい曲でしたので、私が帰国後、ロフェリー・フラウテというフルート・アンサンブルが中心となってCDを作成しました。このCDを紀宮さまや天皇皇后両陛下に献上しました。

日本の援助により中米で最初のプラネタリウムがホンジュラスに出来ました。その開館式には、当時ヒューストンにいた向井千秋宇宙飛行士に来ていただきました。向井さんは、ホンジュラスで3回講演もしました。大統領からは勲章を受章しました。

日本は、ホンジュラスに対する主要な援助国の一つであります。主要な橋、上水道設備、病院など様々な協力をしてきております。中南米では青年海外協力隊員の派遣数でトップでした。ホンジュラスの田舎では電気がないところが多くあり、日本大使館としては、電気を通す電化計画を進めました。田舎の子供たちの教育にとっても重要な計画だったと思います。

「米百俵」の演劇は、関係者の皆さんから多大な協力を得て大成功でした。ホンジュラス各地で上演されたほか、近隣の諸国でも上演されました。アジアの貧困国であるバングラデシュでも上演されました。

私は、演劇だけでなく、米百俵という名の学校を100校作りませんかとマドゥーロ大統領に提案しました。そして日本の援助で「米百俵100校プロジェクト」が始まり、本年1月に100校が完成し、祝賀式典がホンジュラスで開催されました。米百俵学校の生徒数は、約2万5千名ということです。来年春には日本でも祝賀式典を行う計画です。

これからの日本、世界のためにも米百俵の精神が必要とされております。もっと教育に予算を投じて人物の育成を図っていくことが望まれます。

## 5. 幹事報告 飯田幹事

① 竹元さん卓話ありがとうございました。

大変魅力ある内容でした。いつかさなる続きを伺いたいと思います。

② 八王子プロバスクラブの事務所の住所、専用電話の設置、転送電話の設定が9月末にて完了しました。郵便局への登録も「振替払い込み書印字」も完了し、サロンご案内発送の準備もできました。

③ いちよう祭りへのご協力者氏名の登録をお願いいたします。

④ 例会時の私語は他の皆さんの迷惑となりますので厳に謹んで頂きたいと思ひます。

## 6. 委員会活動報告

### (1) 例会委員会 宮城委員長

第252回例会の出席状況の報告（前記の通り）

### (2) 情報委員会 有泉委員長

「プロバスだより」251号をお手元にお届けしました。今回の編集は佐々木秀勝会員によるものです。はじめてですが、お仕事柄、慣れていらっしゃるの、今後の情報委員会の有力メンバーとして期待しています。

もう一部の東日本交流会実施報告書は有泉が担当しました。理事、情報委員の皆様には校正等のご協力ありがとうございました。

例会での報告等の発言原稿を頂き編集者は大変助かっています。引き続きよろしくお願ひ致します。

### (3) 会員委員会 土井俊委員長

先ほどのご紹介のように白柳和義さんが新入会員として入会されました。大変喜ばしいことです。

現在会員が1名増え66名、休会中の方が2名合計で68名です。以上ご報告いたします。

### (4) 研修委員会 池田委員長

来月11月10日の例会は野外例会になります。本日参加費をお預かりしましたが、まだ申し込みをされていない方で、ご都合のつく方はぜひご参加ください。

竹元さんの卓話は興味深く、先の希望が持てるよいお話しでした。

12月卓話は下山さんの「和算で遊ぼう」です。頭の体操ができそうです。どうぞお楽しみに。

出前講座のアンケートを回収しています。未提出の方は内容の変更、確認をお願いします。特に新しく入会された皆様のご参加を心待ちにしています。年内に整理して新しい冊子を作る予定です。

### (5) 地域奉仕委員会 持田委員長

生涯学習サロンのすべてのカリキュラムと日程が決まりました。会員の皆さまのご協力を頂き無事に整えることができました、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

それではカリキュラムの内容を報告します。

(1) 開講式特別講話 2月23日 「極地観測とオーロラ」 国立極地研究所副センター長 宮岡 宏氏

(2) サロン第1回 3月9日 「ひとときのお茶」 (阿部治子会員)、「初めてのヨガ」(朝日智子氏)、「超高齢社会の難題」(杉山友一会員)、「江戸しぐさ」(滝川道子氏・多摩プロバス)。

(3) サロン第2回 3月23日 「絵手紙」(池田ときえ会員)、「美容と健康」(公文裕子氏・)、「経済と暮らし」(佐々木研吾会員)、「歌声サロン」(山形忠顯会員)。

(4) サロン第3回 4月13日 「懐かしの映画と音楽」(立川富美代会員)、「中国問題」(渋谷文雄会員)、「病院の上手な活用」(久野久雄会員)、「徳川と八王子の街づくり」(宮崎浩平会員)。

(5) 閉講式特別講話 5月11日 「映画界の話」  
元日活助監督 岡田 裕氏

(6) 野外サロン 4月27日 ① ガス科学と北極・南極の現状から地球環境問題を知り、② 新副都心(豊洲や台場)を眺め東京の抱える現状を見て、③ 最新のNHK報道番組づくりを知る、東京都内ツアーです。ルートはガス科学館(豊洲)→台場のニッコーホテルで昼食→自由の女神→豊洲市場→五輪選手村工事を眺め→NHK スタジオパーク→南極・北極科学館(立川)です。

今月は予算づくり、市への申請、印刷物の準備などを進めます。

(6) 交流担当 報告事項なし。

### (7) 八王子「宇宙の学校」 下山PJリーダー

9月例会以後の報告をします。

11日(日)本部会場(教育センター)での第2回スクーリングを開催しました。

傘袋ロケットと熱気球を行いました。74組148名の参加でした。薬科大学生5名、創価大学生13名がボランティアとして加わってくれて、新しい取り組みが定着しつつあります。

17日(土) 都立北高校会場で第2回スクーリングを実施。スチロールペーパーによる飛ぶものと熱気球を行いました。35組70名の参加でした。

10月2日(日) 東京工科大学会場で第3回スクーリングを開催しました。株式会社スリーボンドさんによる、くつつく教室アドバンスと傘袋ロケット。

73組 146名の参加でした。土曜日が雨天でこの日が小学校の秋の行事と重なったせいか、少し参加率が落ちました。

今月は15日(土)北高校、23日(日)教育センターでそれぞれ第3回スクーリングを行います。どなたでもぜひ見学にお出で下さい。

### 「宇宙の学校」報告 情報委員会 有泉裕子

第3日目の「宇宙の学校」は10月2日(日)東京工科大学会場(73組参加)、15日(土)八王子北高校会場(28組参加)で、(株)スリーボンドスタッフによる「くつつく教室アドバンス」、山下先生による「かさ袋でロケットをつくろう」というテーマで、さらに10月23日(日)に本部会場(66組参加)で「くつつく教室アドバンス」と「ペーパースチロールで飛ぶものを作ろう」というテーマで行われました。

(株)スリーボンドの「くつつく教室アドバンス」では紙芝居による(株)スリーボンドの設立説明、また技術を知ってもらうため超撥水、超親水、接着剤の効果等の実験などがあり、ロボットが接着剤を使って描いた絵に紫外線をあて瞬間に固めたバッチをお土産にいただき大喜びでした。

かさ袋ロケットとペーパースチロールで作った飛ぶものテスト飛行は子供達にとっては楽しいもので、時間が足りないようでした。



## 7. 同好会活動報告

### フラダンス 根本照会員

8月から4回練習の機会を持ち、楽しく健康的な時間となっています。会員は1名減になりました。練習は月2回、第1・第3水曜日の午前中(1時間半)です。練習会場は(株)びおらです。

男性の方も是非参加して頂き一緒にできたらと思います。会員の奥様、ご家族の方々にもお声を掛けて頂き、賑やかで華やかな集いとしたく、何卒ご協力をよろしくお願い致します。

### お茶の会 宮崎会員

生涯学習サロンの3月9日「ひとときのお茶会」をいたしますので、お茶同好会の方よりよろしくお願い致します。

## 8. プロバス賛歌斉唱

### 9. 閉会 武田副会長

例会ご出席お疲れ様でした。

このところの気候が不順で、体の変調をきたしている方が多いようです。昨日は都内で59万戸の大停電、高圧送電ケーブル(27万5千ボルト)の経年劣化の可能性があるらしいとのこと、35年以上替えていないとのこと。私たちの体も老化現象が進行、メンテナンスにお気をつけください。

卓話での「米百俵の精神」や「勿体無いの精神」など、日本の哲学文化はすばらしいですね。

ところで、八王子市では、10月1日に市政100周年記念の一環として、八王子市・小田原市・埼玉県寄居町と姉妹都市盟約を締結しました。北条3兄弟がそれぞれの城主ということで、縁のある地ということです。

歴史には疎いのですが、市の広報記事によると北条氏康の次男氏政は小田原城、三男の氏照は八王子城、四男の氏邦は寄居町に鉢形城を構築した由縁があるそうです。

来月の例会は、ご案内の通り、研修を兼ねて小田原市周辺を訪問します。この機会に、北条氏の歴史を勉強することができますので楽しみです。まだ、出席を登録されていない方は、是非、野外例会の出席をお願いいたします。

では、来月までさようなら。

## ハッピーコイン

◆八王子まつりで、民謡流しで踊り、ギネスにチャレンジして本日感謝状をいただきました。レク協会57名の参加の中で男性1人でした。塩澤 迪夫

◆竹元会員の卓話たのしみにいたしております。

白柳会員の入会、嬉しく歓迎いたします。

立川富美代

◆ノーベル賞おめでとう。宇宙の学校のチビッコたちががんばれ。浅川 文夫

◆本日 新会員の白柳さんをご紹介します。宜しくお願ひ致します。杉山 友一

◆毎年1つずつ年をとっていきます。

戸田 弘文

◆実りの秋です。家族揃って栗の皮むきました。その栗ご飯の美味しいこと。小さな幸せを感じました。岩島 寛

◆新入会員白柳和義様をお迎えして大変うれしく思います。白柳様にはプロバスライフをエンジョイなさってください。大いなる活躍を期待しています。

飯田富美子

◆平成16年10月22日マグニチュード6.8の中越大地震がありました。その日、その時刻、私は「長野新幹線」の車中でした。上越市の家を売却して上京するところでした。以来12年八王子市民として安寧の日々を過ごさせて頂いております。

山形 忠顯

◆15日よりバンコクへ行って来ます。国王の回復を祈って！！

野口 浩平

◆5泊6日の鼠径ヘルニア左、右の切開手術をして4週間、やっとリハビリしてきました。ハッピー！

寺田 昌章

◆4年ぶりにニュージーランドから孫家族が一時帰国で我が家に滞在、忙しくもにぎやかな楽しい日々を過ごしています。

一瀬 明

## 寄稿

### ルノアールのことなど

佐々木 正

秋口になると、会社に勤務していた頃の友人、学生時代の仲間たちから、自作の絵画展が開かれるから

見に来ないかといった案内が結構な数届く。個展もあるが、多くは、いろいろな美術団体に属していて、



毎年開催される美術展に出展したもので、大きい展覧会は、東京都美術館などで開催され、規模の小さいグループは、適切な規模の画廊において実施する。

どの仲間のものも、長い勤めを終えたあとに、趣味として20年くらいにわたって修練を重ねた結果、初めの頃に比べ格段に上達進歩しており、感心するばかりだ。私には、絵を描く才能が全くなく、当初から趣味にすることは諦めていた。

ところで、趣味のことなどをアンケートに書かされるのがたまにあるが、そこに記載するのは、ほぼ決まってゴルフ、音楽・美術鑑賞等である。体力の衰えとともに頻度の激減したゴルフは、そろそろ趣味から除くとして、音楽観賞は、CDでのオーディオとN響の定期演奏会等で楽しんでいる。

さて、次なるは美術鑑賞。といってもその殆どは、絵画展に出かけることだが、自ら描けないぶん、大家の作品を見ることにしようと、こちらは結構頻繁に出かけていると思う。

鑑賞するジャンルはまことに雑多である。誰が好きかと問われれば、良いものはみな良いと思っているが、強いて好きな画家はと問われれば、フェルメール、モネ、ルノアールに、わが北斎の4名を挙げておこう。

都内に行けば、見たくなる展覧会がどこかで開催されているので、会合等の合間に時間をつくって顔を出すこととしている。間近な時点で出かけたのは、国立新美術館で開かれた「ルノアール展」である。外国の有名美術館展もよいが、どちらかというと「モネ展」とか「ゴッホ展」といったような特定の画家展のほうが好きである。若年期、壮年期、老年期といった各年代において取り組み、画風を変化させていった過程が読み取れて興味が倍加するからである。

さて、今回のルノアール展だが、あの有名な「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏会」が初来日し、130×180cmの実物がでんと展示されている。「私にとって絵とは、好ましく、楽しく、きれいなものであるべ

き」というルノアールの心情が、この絵のいろいろな角度から伝わってくる。また今回の展覧会は、「肖像画」「風景画」「生活画」「子どもたち」「裸婦」といった括りで代表作が展示されており、ルノアールの画才の多様さを堪能できる。最晩年、効かなくなった指の代わりに、腕に絵筆を括りつけて描いたといわれる「浴女達」は、ルノアールの特徴である「色彩の賛美」に満ち溢れている。

これからも多様な展覧会の開催がスケジュール化されており、まことに楽しみである。

## 天空の都市ボリヴィア国ラ・パス市

山口 三郎



世界で最も高いところにある都市、南米ボリヴィア国ラ・パス。早朝に飛行場に到着するとそれは何とも言えない程、神々しく、凜とした清々しい空気が五感に行き渡る。

標高 4,080m、海底から隆起したアンデス山脈の東側、荒々しく聳え立つ急峻な山々と違ってまるで定規で計った様な真っすぐな大平原が見渡す限り360度広がっている。わが国では決して見ることが出来ない感動的な風景である。

空港の名はエル・アルト（正に高所の意味）、都市名はラ・パス（平和の意味）、なかなかうまく命名したものである。因みに富士山の山頂より高地のため空港には医者が常駐し、酸素ボンベが備えられており、乗客のうち何人かは必ずこれらのお世話になることとなる。わが国では考えられない、恐らくは想像出来ない空港と言えましょう。

余談ですが当空港は 4,000m級の滑走路は有しているものの、気圧が低い上、十分な揚力を得られないことから通常大型機の発着は見られない。ただ唯一ドイツルフトハンザ航空のジャンボ機と米軍の輸送機ギャラクシーのみが気圧の影響を受けにくい夜中に着陸し、夜明けとともに離陸していた。特にベテランのパイロットが配置されていたと聞いている。こんなところもユニークな空港である。

エンジンを全開にして、いやいやする駄々っ子が頭をもたげながら離陸していくジャンボ機は何とも

滑稽な感じであった。

そんな訳で空港を後にらせん状に下って行く道路を経て市街地へ行くことになるが何しろ酸素量が平



(ラ・パス市街)

地の2/3しかないので愉快的話が少なくない。こそ泥は殆どいない、なぜなら逃げ切れないから。東京からやって来る出張者の中にはホテルの高い階でなく出来るだけ低い階に宿泊を希望する人が多かった。しかもベッドでなく床に直接寝る方もいた。少しでも酸素量が多いところに居たいと言ったところでしょうが効果の程は疑問です。いろんなエピソードがあるのですがこの辺で。

さて、南米の国ボリヴィアってご存知ですかと尋ねると大半の人は聞いたことはあるけれど、全く知らないと言うのが一般的答えと思う。日本の裏側に位置し、乗り継いで30時間以上もかかる。



(オルロのカーニバル)

最近では世界最大の塩湖ウユニやブラジルのリオとは一味違ったローカル色一杯のオルロのカーニバル等が紹介されたりしている。こんな息苦しい？ところではあるけれど私にとっては思い出深い大好きな国の一つである。

## 同好会便り

### 囲碁同好会

ヤヤヤ・完全優勝

囲碁同好会 下山邦夫

恒例の秋の大会を、例年のように人里離れた陣馬山裏の宿にて、俗世間を離れた境地を満喫しながら実施。今年は8名の参加で、総当たりリーグ戦。皆さん盤上はもちろん、舌戦を交えて大健闘。こうしたら勝っていたとか、これが失敗だったとか……。ところが下山が運の良いことに7戦全勝の完全優勝でした。

陣谷温泉でやり始めてもう15年(途中で他の場所あり)、顔なじみの宿の主人がこれまた囲碁大好人間、手空きのプロバス同好会員と鳥鷲を戦わします。まさに囲碁三昧の一泊でこの上なく楽しい時を過ごして来ました。



### ゴルフ同好会

第30回の節目のコンペ

ゴルフ同好会 矢島一雄

ゴルフ同好会では、第30回を迎えた節目のコンペを、10月7日にGMG八王子ゴルフ場で開催。

2組8人の参加者で若干寂しいコンペとなったが、久しぶりの秋日和の好天に恵まれて楽しい一日を過ごすことが出来た。

成績は次のとおり。(敬称略)

優勝 田中 信昭

準優勝 一瀬 明

第三位 矢島一雄

以上でした。

### 俳句同好会

私の一句～10月の句会から 河合 和郎

五七五に思いを込める。思い通り詠めた時の爽快感。更に、読み手に思いが伝わった時の満足感。

句会は期待と緊張と満足のひと時でもある。

ひょっこりと覗くリスの手冬支度 飯田富美子

視点が面白い。忙しなく動くリスの手を見て、冬支度を連想するのは主婦の感覚。もうそんな季節が。

太る身を案じながらも秋刀魚焼く 立川富美代

何事も食い気には勝てません。ましてや旬の秋刀魚ともなれば。ダイエットは明日から……。

しぶき跳ね弾ける声や下り築 馬場 征彦

上手い句。下り築の情景が生き生きと描けた。鮎の踊る姿に歓声を上げる見物客の声が聞こえる。

酔い痴れて蟋蟀の鳴く家路かな 渋谷 文雄

男なら誰にでも身に覚えのある話。蟋蟀が鳴く音で迎えてくれても、玄関に入ってからが問題。

菩提寺へ色なき風の石畳 山形 忠顯

秋の墓参の雰囲気がよく詠われている。道具立ても整って、リズム感もある。季語の斡旋がいい。

そよぐ風ほのと香れり金木犀 東山 榮

微かな風に金木犀の香りが運ばれてくる。金木犀の花の芳香を繊細な感覚で詠う。

回廊の猫長々と萩の寺 矢島 一雄

寺院の回廊と猫と萩の取り合わせが絶妙。秋日和の昼下りの光景が浮かんでくる。秀句。

時雨るるや拾い読みして山頭火 池田ときえ

漂泊の俳人山頭火と時雨の季語の斡旋がいい。家も家族も捨てて旅に果てた山頭火。上手い句。

神無月出雲に余る赤い糸 田中 信昭

結婚しない若者世代を風刺した一句。出雲に集まった神様たちも赤い糸を持って余している。

豊年の真っ只中をローカル線 河合 和郎

今年も米の作柄は良好とか。豊年満作の実りの秋の田園風景は殊の外美しい

編集後記 9月は交流会報告書、10月はプロバスだよりの編集で気づけばお酉さまの月！今年も残すところ1ヶ月余、元気にプロバスライフ、趣味、ボランティア活動に携われたことに感謝です。 情報委員会・有泉 裕子